

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R6.12.16 南公民館 土生(欠席)／府川／緑ヶ丘	府川	●町内会の中の役職の兼務が多い。重たい役でも兼務されている場合があり、負担が大きい。 ●役の見直しや、近隣町内会との協働も模索している。 ●町内の「祭り保存会」が岡山県内の団体に講演を依頼するなど連携している。そういったところにヒントを探している。 →きっかけは、祭りに人が集まらなくなり、神輿があげられなくなったため。 ●民生委員は町内会長が推薦するが、何を基準に推薦すればいいのかわからない。 (委員は町内会の集まりに出て来ない。) (社協と絡めて合同で情報交換会を開催しているが、納得いかないという声もある。) ●以前は「漁行会」という会が様々な行事の企画を行ってきたが、高齢化でパワーが無い。「漁行会」は気が合う者が集まって個々の意志があってできていたので、新しく作れと言って作れるものではない。 ●昔は夜な夜な集まって飲んだりしていたが、最近の4・50代の方は仕事や家庭で忙しい。しかし、少しずつ忘年会など企画してやってくれているので、応援したい。 ●古い地区とニュータウンも融合しているが、中には、町内会から神社の祭典料を支出していることに抵抗感を示される方もいる。 ●府川は南・東・西の3区に分けており、それぞれに区長がいる。各区から役員を選出している。 ●回覧は月2回15日と1日に回している。 ●運動会を開催していたが、高齢化により各班から出場者を出すのが困難になってきたため、今年は企画したもの中止した。 ●CSの関係で学校の授業で話すことがあるが、子どもたちが自分達でタブレットを使って議事録を作成したり、タイムキーパーをしていたり、リーダーシップが育っており、やはり環境が いいのだろうと思った。	●市役所から出される町内会回覧について、イベントの期日に余裕を持って送ってほしい。 以前、上下で開催されたサッカーの試合の案内について、開催日が10月2日なのに、9月20日にこちらへ届いた。回覧が回りきるまでに時間がかかるので、行きたかったのに回覧が回ってこなかったために知らなかったという場合もある。1か月前には周知できるように準備してほしい。	【市長・総務課】 かしこまりました。	—	—
	緑ヶ丘	●歴代、町内会長の就任年数が長いため、町内会の中で「会長の交代」についてあまり意識がない。 ●会長に就任してから世帯数調査を行い、現在は転出があった場合は組ごとに報告してもらっている。 (転出の際に報告が必要な旨は、定期的に町内会便りで住民へ周知している。) ●役員の選出は、全体24組を4ブロックに分け、それぞれから役員候補を選出し、話し合いにより決定している。 ●若い方も役員を担ってくれるので、行事の準備など一緒にに行い、やり方を教えている。 ●コロナ禍を経て、近所づきあいが薄くなった。(組によっては香料を出さないなど決められた事例もある。) ●とにかく子どもたちに色んな行事に参加してもらうようにしている。高齢者も元気が出る。 ●「土生を元気にする会」という会が発足し、私も参加した。活躍に期待している。 ●町内会はほぼ全員が加入している。 ●組によっては「高齢者のみの世帯は役を免除する」などの配慮をされている。これは各組で決めることとしている。 ●府中地区社協の役員については、全体で「民生委員・女性会・ボランティア」など各町から数名出ている。 (16町内会で一つの地区社協なので、全体で72名いる。) ●地区社協で敬老会のほか、三世代交流のグラウンドゴルフ大会を行っているが、子どもがいない。 ●「壮年会」という団体が行事の企画など行ってきたが、高齢化はするし新規加入は無いので必然的に解散することとなる。 ●回覧は月2回15日と30日に回している。回覧依頼が届いたら役員に手伝ってもらって南公民館で仕分けする24区分に分けて公民館へ保管し、15日と30日にブロック長さんに渡して、ブロック長さんが組長さんへ渡す。回覧終了後は封筒を公民館へ返却してもらい、回覧が回りきったことを確認している ●地区社協でなく、町独自の社協が主体となり毎週火曜日にお茶の間サロンを、また、いきいきサロンは月2回開催している。町独自の社協は市の社協へ登録していないので、町内会から助成金を出している。 ●以前は町の社協が高齢者独居世帯へお弁当を配っていたが、コロナ禍から無くなり今は行っていない。 ●運動会は高齢者でも参加しやすい「パン食い競争」などの種目をメインに設定している。 ●CSの関係では、子どもたちが地域に来て防災学習をする際に、昔の遊びを教えたりして交流をしている。	●公民館での飲酒禁止を考え直してもらいたい。元々南公民館は「教育集会所」として建設され、地域が自由に使えるようにされていたため、トイレの改修や冷蔵庫などの備品の購入も町内会の費用で自前でやってきた。その経過からやはり反発の声はある。 ●一中の体育館と、南小学校が避難所になっているが、エアコンが付いていない。エアコンを付けてほしい。	【市長】 公民館は一応、社会学習の場なので、例えば子どもが勉強しに来たりする時に、飲食すること自体は大丈夫ですが、「飲酒」は、そういった場にふさわしくないということで酒は控えようという話になりました。 【宮部長】 教育施設という位置づけなので、子どもが来る施設で大人がお酒飲んでてはいけないという考え方で。ただ、地域拠点であるとするれば、もっと自由度が高い、みんなが集まってワイワイ騒げる場というのも一つの拠点の役割だというご意見も理解できます。	—	—
				【市長】 今回他の3つの中学校はエアコンをつける費用をつけたんですけど、一中は電気で51年くらい経っていて、今の制度にかかると大変な規模ということもあり、対象としていません。 南小学校はやはり避難所でもあるので、段階的に考えていく計画ではあります。しかし、いつやりますということは断言できません。そうなると、一中の子も場合によっては南小学校の体育館を使って一緒に部活をするという方法もあるので、一中については、今すぐつけますとは言いきれないです。 一中のことだけを考えると、例えばTTCで活動するという考えもあります。	—	—

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会後)	担当課
R6.12.17 国府公民館 上高木／高木古川／高木中町／ 高木開町／高木稲荷木／ 中須西之町	高木開町	●うちは世帯数が300弱と多いので役の成り手はいる。誰かがしてくれる。でも頼んだら、まだ早い、まだ早いとも言われる。	町内会で回覧版を回しているが、町内会に入っていない方へは、どういった方法で情報を知らせるのか。	【市長】 今は、MY府中、LINE、Facebookや広報紙がある。広報は毎月新聞折り込みもしているが、今は若い人は新聞をとっていない人も多いので、スーパーなどに何部が置かせてもらっているほか、公民館、市役所にも置いています。広報誌は希望があれば郵送もします。回覧板の情報が全てそこに載っているかは、何とも言えないところですが、そうした方法を駆使しながら出来るだけ町内会に入っていない方にも、情報を届けようとは思っています。他に何かいい方法があれば教えてください。	—	—
		●会長の決め方について、つい最近になって規約ができたが、今年また、会長選出方法を変更し、規約を変えた。会長の任期は2年とした。総会で決めたが、当然ながら意見を言う人はいない。多分任期が切れる来年の12月にザワザワすると思う。				
		●会長の決め方は、まず3つに分けたブロックで世帯数を均等にし選出するようにしたが、厳密に各ブロック同様ではないから人材がいなくともある。また、自ら会長に立候補する者はいない。				
		●町内会長は地区社協と公衛連の会長も兼任している。地区社協は世話をするのは民生委員。夏祭りや秋祭りの企画から何から町内会長が行う。消防団の行事なども担当している。知らなかったものも多く「こういうものか」と思いながら受け入れている。しかし、町内会長がいなくなったら困ると思う。				
		●町内会がなくなったら、まず、第一に防犯灯が無くなり街に明かりがなくなる。溝掃除をしなくなり、ボウフラが湧く。道路に異変があっても誰も言う者がいなくて、下水管とか水道管が破損するかもしれない、というようなことを今年の総会で言った。あとは夏祭りとか秋祭りがなくなり、コミュニケーションが全くなくなる。				
		—				
	高木中町	●中町は過去何代かリーダーがおられて、その人が指揮すれば大体みんな従うという仕組みだったが、ここ最近是这样いった人がいない。私が会長になった際も誰がなるか揉め、色々あって結局私がすることとなった。町内会の役員もしたことがなかったので大変だ。	●結構新規の家や集合住宅が増えている。その人たちにに対して「町内会に入りなさい」と勧誘するのは難しい。逆に「町内会費を払わない人はどうするんだ」という意見もある。その辺をうまく説得できる方法が無いかと考えている。皆さんの町内では町内会費を払わないという人のためにはどういふうに対応されるのか。	【市長】 うちの町内会も敬老会の時に町内会未加入者に記念品を配っているが、やはり中には「なぜ配らないといけないのか」という意見もあります。夏祭りには、子どもは地域の宝だから町内会未加入世帯の子どもにも同じように配っています。なんとか皆さんにご理解をいただいています。新規加入をどうすればいいのかというのは悩みです。	—	—
		●町内会長の決め方は、組からおよそ一人ずつ理事が出られて、その中から町内会長と部会長を決める。理事は20名いる。				
		●地区社協の会長は町内会長が兼務していないが、メンバーにはなっている。いきいきサロンはサロン長として兼務している。				
		●「町内会長は大変だ」と言うと必ずみんなに「町内会長なんかするもんじゃない」と言われるので、言わないようにしている。人材不足。我々から見て、あの人に任せたいと思う人は大体仕事をされている。				
		●町内会加入促進について、町内会長名でチラシを作成し「このような活動をしています。ぜひとも賛同して加入してください」というアピールを行ったが、結果的に効果はなかった。やはり、市の判断が必要なのではないかと思う。そして、ある程度近所の人も互いにそのような理解があれば、入ってない人は「入らないといけなのかな」という風になってくれるのではないかと思う。				
		●子ども会への理解は若干あるが、子ども会自体の数が減っているうえに、加入者も減ると会の予算が厳しくなる。中町は行事が多いため予算が足りず、町内会の予算を使わせてほしいといった話が出ることもある。				
	西之町	●集合住宅の人を抱き込むことを一生懸命やっていた時代があったが、今は集合住宅でもでなかなか町内会に入ってもらえない。	新しい環境センターがスタートし、し尿処理の希釈に毎日150トンの井戸水を使用するようだが、井戸水を利用している家庭の水が枯渇するのではないかと心配している。また、同様に地盤沈下についても心配している。スタートしてから半年、今年1年で影響が出るとは思っていないが、10年～30年先にそういう影響が出るのではないかと不安視している人が非常に多い。8月に要望を出して、同月に市長名でご回答いただいているが、本当に市長のところまでそれが届いているのか伺いたい。	【市長】 しっかりと伺っております。	—	—
		●若い人が入ってきたら町内会に誘って、祇園祭りへ参加してもらう。祭りに参加した人は大体一気に飛び込んでくる。行事ごとというのはやっぱり大切だと思う。西之町には祇園祭りがあるので、これは一つ大きな武器かなと思っている。				
		●今年は「盆踊り」を「夏祭り」に名前を変更して、小学校の子どもさんが参加しやすいことを中心に考え力を注いだ。そうすれば子どもが出てくる。子どもが出るなら親も出なくちゃいけない。当分力を入れて子どもたちが活躍できるようにしていきたい。				
		●会長の決め方は、全7班から町内役員になる方を各班から班代表として出して、その中で誰がやるか決めています。この7人から会長だけでなく、副会長・庶務1名・幹事・会計を選んでいます。				
		●社協の関係は町内会長が引き受けているが、今のやり方を変えないと、働いている人が会長をできるような状態ではない。週3日くらいはどこか時間を割かなければならない。				
		●役員のなり手がいない。うちの町内会は5ブロックに分け、各ブロックに理事が存在する。その上に副会長が3人おり、体制的には割といい。しかし、それでもなかなか成り手があらず、役員は1本釣りである。理事から上がっていただければ一番いいが、その理事自体も班によって話し合いや持ち回りで選出してもらっている。		—	—	—
高木稲荷木	●若い人で構成する壮年部というものを早めに作った。要するにスポーツ関連をメインに町内会へ誘い、スポーツにたくさん出たいただき、いろんな祭りなどにも出てもらっていた。割とうまくいっていたが、だんだん高齢化してきているので交代を考えなければならい。いい組織づくりだと思う。					
	●砂川の草刈りがあるが、大変である。出てくる人がだんだん高齢になってきた。今も若い人や壮年部の方も出てきてくれるが、やはり若い人は仕事をしてるので全員でというのは難しい。					

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会後)	担当課
	高木古川	●よその町内会では、副会長は会長の補佐として、次期町内会長は副会長が担うというパターンがあると聞く。昔はうちもそうようにしていたらしいが、難しくなったため、今は副会長に前会長、前々会長を当てるという逆の形を採って、初めて会長になっても業務をこなせるようにしている。 ●以前、班から会長を選出するタイミングで、会長になりたくないという理由で一度に3人、4人町内会から脱退された。その時に止める理由がなかった。うちの町では、ゴミステーションは作る時に出席した方が使っており町内会がタッチしていないため、町内会に入っていないなくてもゴミは出せる。制約がないのであれば、なんで町内会に加入しなければいけないのかという考え方が出てくる。 ●集合住宅に入居された方に、町内会加入の案内をしても、「いや、私は結構です」と言われるし、もうそれ以上言えない。「町内の情報が伝わりませんよ。」と言っても、「それは結構です。」と言われる。 ●会長の選出も、年齢が80を超えるとどうしても体の調子が悪い。若い層になると働いているからという理由で断られる。僕は今60代だが、ちょうど70代がいない。限られた層から選出しなければならない。 ●行事は日曜以外はほとんどしないということにしている。 ●若い人が子どもと一緒に参加できる行事を考えて開催している。うちの夏祭りも、今までは年配の方が中心に多く来たが、子どもを対象にゲームなど色んなものを各ブースで作って呼ぶようにしたら、確かに子どもはよく来たが、今まで来ていたベテランの方がほとんど来なかった。どういうシチュエーションで物事を考えたらいいのかわからない部分がある。いろんなことをやりながら考えてみると、毎年毎年同じことをやっているわけではないが、やはり毎年色々な問題が出てくる。 ●町内会の運動会は2年に1回開催している。ある時、参加者が少ないのと、班長さんに負担が大きいということで、年寄り向けのあまり走らないような種目に変えた。景品もたくさん用意して集まってもらった。綱引き等はやるが、年寄りの方ではなく、子どもが一生懸命やる姿を見てもらうようにしていた。あれはスポーツとしてじゃなくて、一つのリクレーションというやりかたで良かった。コロナで無くなってしまったが、そういう位置づけで捉えられるような行事ができればいいと思う。	町内会脱退者が増えると、地域に無関心になっていかれる。今年も防災で集まって話したが、避難する際に、町内会に入っていない人まで面倒見ないといけなのかということと、避難先で見回り確認を行う際も、未加入者も合わせて確認するのか。そういった細かいところがどのような流れになるのか……。市の人に、「町内会未加入者は、どういう扱いすればいいですか。」と言っても、それははっきり言われない。一応市民ですから。市から町内会に、色んなことを委託されるのであれば、基本的には一律で町内会に入ってもらうのが一番ではないか。市の方でも管理するにはそれが一番良い状況だと思う。	—	町内会は、同じ地域にお住みの皆さんが協力し、より快適なまちづくりを目指して自主的に活動している住民自治組織です。会費や活動が負担という声もありますが、みんなが協力し合って地域をよりよくするための資金だったり清掃活動などです。消防後援会費を払っていない人は火事を消さないという訳にはいきません。同様に災害時などいざというときには、地域の皆さんの助け合いがとても大切です。日ごろから皆さんが関わり合うことで、“いざ”というときに、お互い助け合える関係が築けます。そのため市としては、何とか町内会を維持していただきたいと考えています。	地域づくり課
	上高木	●役員決めは、約14名の役員候補から会長を選ぶ。 ●町内の未加入者も全部掌握している。 ●高齢者が増えてきたことと、民生委員が欠員となっており、私がある分も少し代理で動いているので大変に感じる。 ●役員決めは、役員も組長さんも80歳で免除している。 ●近頃は70歳代になっても皆さん仕事をされているので、それが非常のネックとなっている。仕事を理由に役員を断られる。私は一応昼も夜も動けるのでやっているが、町内会長は非常に出ることが多い。 ●町内会長は色々と呼ばれて出ていくことが多いが、出なければ町内会長として町内のことを把握できない。実際、私は地区社協や社協、公衆衛生へ行くようになり、内容が全部わかった。活動が見えてきて動きやすくなるというメリットもある。1年、2年で会長を交代すると、そのメリットが全く実感できないので、わからないままになってしまう。 ●町内会を脱退される人は80歳過ぎた高齢の方はいるが、若い人はほとんどいない。 ●アパートにお住いの町内会に入られていない方へ加入の案内に行っても、「すぐ引っ越してしまうので」と言われる。町内会に入っていない方は情報が分らないし、要望も聞けない。	府中市では、ずっと人口減少傾向で進んでいるが、この対策は進んでいるのか。	【市長】若い人呼び込む方法として、今、国では保育料を3歳から5歳を無料としているが、府中市は独自で0歳から2歳児も無料にしています。また、国は保育料は無償ですが給食費は徴収していますが、府中市は給食費も全部無料にしています。すぐに少子化防止効果となって見えるものではありませんが、そうした取り組みを進めています。	—	—
			統計によると、女性が東京に行ったら帰ってこないそうだが、府中は東京の学校へ行って帰ってくる女性の割合というのはどのぐらいか。	【市長】府中市の場合、20歳から25歳人口が就職とか進学の関係で下がりますが、25歳から30歳で戻ります。広島県だと30歳ぐらいで大体横ばいなんです。府中市は30歳を過ぎたところで、結婚などのタイミングだと思いますが、また下がります。府中市は昼間人口の方が1,500人ぐらい多く、ほとんどの方が福山から来られています。福山といっても新市、駅家、神辺あたりかと思います。そういう意味では府中市には働く場があるので、その人たちが府中へ住んでくれるのが一番いいですね。	—	—

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R6.12.19 旭公民館 旭谷／中須中之町(欠席)／ 中須岡谷／中須亀寿／中須東町 ／中須旭町(欠席)	中須東町	●町内会長の任期は2年としているが、町内会長の成り手がいない。	今回の座談会のスケジュール一覧を見ると遅い時刻でも18時開始だが、旭公民館会場については、欠席者お二人の働いていらっしゃる時刻を考えると、来年度の開始時刻は19時からにしていただけるとありがたい。	—	ご指摘を踏まえて配慮させていただきます。	地域づくり課
		●町内は4つのエリアで分かれており、各エリアから副会長を出す、エリアによっては軒数が少なく、副会長は選出できても会長までは難しいと言われる場合がある。				
		●副会長ならすると言ってくれる人はいるが、会長となると渋られることも多くある。				
		●70歳代でも働かれていることも多い。町内会長ををするとなると、お仕事をされていると仕事を休んだり途中で打ち切ってこういう会議に参加しなきゃいけない。年に何度かは日中の会議もあるので、そういう意味でも引き受けづらいという面がある。				
		●「中須連合会」として役割分担をしているものもあり、今は連合会長が私で、亀寿町が消防、岡谷町が青少年、中之町が社協を担当している。				
		—				
		—				
		—				
	広谷	●広谷町は一つの組織で会長が何役も兼ねている。4ブロックから副会長を出し、うち1人が会長になるが、それぞれみんな2つ、3つも掛け持ちでやっている。もう少しその下の役を作ってもいいが、厳しい。	若い人と呼び込むために必要なのは、大学や専門学校または企業の誘致だと思う。また、府中市には産婦人科がなく、新しい若い人が来て子どもができて、子どもを産めないで安心できない。小児科もない。安心して子育てができる環境づくりをしないといけない。	【市長】 公民館周辺の水はけについては、現在調査中。分かり次第、工事に着手したい。	—	—
		●組は22組あるが、組として組織していなかったり、機能していない組もある。				
		●ある組では約20軒中、大多数が脱退された。高齢化もあるが、面倒くさい、組織の必要性を感じない、日々の生活は困らないと言われる。「防災面で災害があったときはどうするんですか」と聞いたら、「そのときはそのとき」と言われる。それを言われると返す言葉がない。				
		●組の統合も考えたが、お互いの考えもあり統合は難しい。				
		●小学生の子どもがいる世帯が何軒か新しい家を建てて引っ越されてきたが、そういった方々は子ども会の関係もあるため、町内会にも組にも加入し、祭りにも参加してくれている。				
		●会長業務は大変である。役員会は毎週、組長会議は毎月ある。他にも、市からの依頼もあるし、役員会以外にもやらなければいけないことがたくさんある。				
		●広谷町では今、町内会加入世帯に限らず全世帯向けに町内会運営についてのアンケート調査を行っている。素案はまちづくり委員会へ委託して考えてもらった。内容は、「組についてどう思うか」「組の仕事の何が負担か」「組を脱退したい理由は何か」「町内会組織の運営はご存じですか」など。				
		●来年の2月には防災の会と一緒に避難訓練をする。防災の知識は皆さんにも知っていただく必要があるため、避難訓練はできなくても、各組長さんや各関係団体に呼びかけ、講習会などで防災に関しての話を聞いてもらう。防災マップも作って渡し、各ブロックに分かれてそれを見て、避難経路や一時避難先のコミュニティセンターへどのように非難するかなど確認をする。2年に1回ぐらいはしないとと思っている。				
	岡谷	●アパート住まいの人の中には町内会へ入られない人もいるが、子ども会が町内会に入るきっかけにはなっている。子ども会の関係で町内会に入って、子どもが子ども会を卒業しても楽しいからそのまま残る。そういう意味では、周りのフォローがあって、そのまま残れるような環境にはなっている。				
		●役員は年齢ごとに5人で回している。町内会内でエリアが2つに分かれているので、各エリアから役をやっていない人で最も年齢が高い2名を出してもらい、その中から会長を選ぶ。任期が満了すると、また一つ下の5人の中から選ぶようになっている。だいたい60代が対象になっている。				
	亀寿	●役員5名のうち、私を含む4名が仕事をしている。私も日中の会議がある時は、例えば2時間の用があればその2時間だけ抜け、また戻って仕事をしている。どうしても出られない会議があった時は、他の役員4名に声をかけて都合が付く人に行ってもらっている。	亀寿老人集会所のエアコンは市で対応出来ないとのことと町内会が設置したが、床がたわんでいる件については市にも確認してもらっているが、まだ修理ができていない。いつ頃の予定か。	—	府中市が管理する集会所の維持管理に関しては、雨漏りなどにより建物(躯体)の存続に大きな影響を及ぼすおそれのある場合や、フェンスの倒壊などにより利用者等に危険を及ぼすおそれのある場合などに限って工事・修繕を行うこととしています。そのため、エアコンなどの備品の買い替えや簡易な修繕については、集会所を管理されている指定管理者(地元町内会等)に対応いただいています。床がたわんでいる件について、再度状態を確認し、対応を協議させていただきます。	福祉課
		●会長の選出について亀寿町では、町内の3ブロックから副会長を1名ずつ出し、その3人で誰が会長をするか話し合って決めている。会長になったブロックからは、もう1人副会長を出し会長が1人、副会長が3人という体制をとっている。				
		●「亀寿会」という町内会とは別の組織があり、亀寿会にも会長、副会長がいる。町内会でできないようなイベントを亀寿会で行っている。資源回収やグランドゴルフなど色々な行事を行っている。昔から、「みんなで集まってわいわいやらなきゃダメだ」という意識がある。				
		●中須町には祇園祭があるので、中学生など若い人を祭りに参加させて、「楽しい」という経験をさせる必要があると思う。				
		●新しい家も建っているが、大体町内会には入ってくれている。子どもができて子ども会に入らないといけないことになると、町内会に入らず子ども会だけ入るということにはなっていない。				
		—				

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R6.12.20 TAM 東町／永井町(欠席)／朝日町／ 飛屋町／西町(欠席)／本町／ 上辻町／下辻町／老松町	本町	●本町も後継者や新しい組織の編成がなかなか難しい状況に入ってきている。自分は10年以上町内会長をやってきたが、やはり次の人に引き継ぐのが良いと思い始めたので、2、3年前から後継者を探しているが、未だに適当な人が見つからず、今も町内会長を務めている状況。	—	—	—	—
		●町内会をやめたいとか抜けたいとかはそういった意見はあまり聞かない。	—	—	—	—
	飛屋町	●現時点で41軒の世帯が加入している。小さい町なので決断力や結束力、チームワークは取りやすい町ではあるが、どんどん過疎の町になっていくのではないかと心配している。	—	—	—	—
		●いきいきサロンも盛んに行っており、旅行にも行っている。祭りもみんなで集まって一緒にやっている。	—	—	—	—
		●組は12組程度に分かれているが、その内2組が1軒、1組が2軒、あとは3軒程度。一番多くて5軒程度であるため、何をするにも組単位というよりは町内会全体で協力して取り組んでいる。	—	—	—	—
	朝日町	●朝日町は、4つの組に分けており、その組の中から2年ごとに組長を出すようにしている。1組が大体45～50軒以内。2～3年前は6つに分かれていたが、1組あたりの軒数を40～50軒に揃えようということで4つになった。	野犬や野良猫の問題。野良猫が口から血を吐いて死んでいるという通報で相談したが「警察に言うしかない」ということだった。毒を飲まされたかもしれないという住民の不安に、どう対処するのか。一町内会の課題ではない。	【市長】 野犬の話はおっしゃるとおり、一つの町だけでどうこうできるものではなくて、もちろん市に届けていただければ市も対応させていただくものだと思うています。そういう情報があったら連絡をよろしくお願いします。	猫の不審な死が疑われ、動物虐待等罪に該当する可能性が高い場合や緊急性が高い場合は警察署が対応します。まずは現場確認が必要のため、発見者の方で警察署に連絡してください。その際、市民課にも連絡をいただければ、可能な限り立ち合うほか、動物愛護センターとの連携を行います。 (死骸は動かさないでください。やむを得ず死骸を動かす必要がある場合は、発見した現場写真の撮影をお願いします。)	市民課
		●組の運営や行事は、限られた約30名～40名の方が固定メンバーで行っている。例えば、夏の盆踊り大会や冬のとんど等も、この方々が長年やってきた流れに沿って行っている。町内会長としては、会の始まりに挨拶をするくらいで、材料の購入や組み立て等は昔ながらの知っている人が行ってくれている。	—	—	—	—
		●約30～40名の中心メンバーも高齢化している。メンバーの中に若い人もちらほらいるものの、平均年齢が75歳くらいに上がってきて、そろそろ引退したいという声が出てくる頃かなと思っているが、次の世代がなかなかいない。	—	—	—	—
		●朝日町の防災の組織について、町内会で防災の勉強会等の提案や相談してみたが、なかなか実施に漕ぎ着けられない。	—	—	—	—
		●副会長は4組の中から選出して、持ち回りの状態でよく分からないまま副会長になる方もいる。そのため、副会長職に対する認識が薄い方から、昔のことをものすごく知っている方まで、それぞれにギャップがある中でやっているのが現状。	—	—	—	—
	老松町	●月1回の役員会で子供会の役員が2人出席されるが、役員をしている女性の方が積極的に前向きな方で、今年は特に改善点や提案等の意見が出ていて盛り上がった。	—	—	—	—
		●老松町内会は若い世帯が家を建てて流入してきており、10年前から世帯が増えている。	—	—	—	—
		●若い人が増えたので、夏休みに子ども会の勉強会や夏祭りなどの若い人向けのイベントを行い、それなりに手ごたえがあった。逆に女性会や老人会は解散してサロン等の町の集まりに行く人が減ってしまい、そこをどう対応していくかが課題である。	—	—	—	—
		●リーダーにはなりたくないという人が多い。50代、60代の方は仕事があってできないという方も多く、今後本当に町のことをしてくれる人が出てくるのか心配。	—	—	—	—
		●組は5つに分けており、夏祭りも組ごとにイベントを担当してほとんど参加してくれた。	—	—	—	—
	東町	●サロンについては、どれだけ人を呼ぶかが課題。以前から役をされて活動されていた方がどんどん引退している。そういう方をどう引き留めるべきかも課題。	—	—	—	—
		●町内の組織は、昔は老人会や青年団などもあったが、町内会と金毘羅神社の2つ。	インフルエンザが流行っている。我が家でも罹って市内の診療所を受診したが2時間待ち。府中学園は90人の罹患者で学級閉鎖もあるようだが、昨日初めて知らされた。コロナのころは毎日情報提供があったが、インフルエンザも含めてもう少し丁寧な情報提供があれば、対応も違っていたのではないか。	【市長】 閉鎖になってから連絡が来ただけではなく、もう少し早めに聞いていれば予防もできたという趣旨だと思います。	災害・不審者・火災情報のほか学校行事の案内等、教育委員会や学校からのメールを携帯電話等で受け取ることができている「府中市メール配信サービス」(登録アドレス fuchu@xpressmail.jpもしくは市のHPからQRコードを読み取って登録)していただければ、地域の方にも学校の情報も入手していただくことができます。ご利用ください。	学校教育課
		●地域の祭りの子ども神輿の担ぎ手の児童が減少して5名になった。外部からの支援でなんとか出来ているが、しんどい状況。色々努力はしているが、どこまで努力をすればいいかよく分からないし、アイデアも持ち合わせていない。	—	—	—	—
		●組は全部で6組ある。組ごとに随分年齢構成等が違っていて組長を出しにくい地域もあり、これから先の不安が悩み。今は70歳まで働いている人も多く文句も言えない。高齢者の役割処遇などは、組らせて決めている。	—	—	—	—
	下辻町	●いきいきサロンは週1回開催し、毎回12～13人くらい来ている。	—	—	—	—
		●次の町内会長は決まっているが、いつも決めるときは非常に揉める。私が会長になる時も揉めたが、副会長を2人体制にしてもらうことで受けることにした。1人は八幡神社の担当、1人はいきいきサロンの担当。同好会と同じで役員が沢山いた方がいい。今はそれでいい感じに進んでいる。それまでは会長と副会長の2人で分担していた。	下辻集会所について、教育委員会から年間26万円の経費を町で負担してくれという話があったが、すぐには返答できない。避難所にもなっているが、屋根は雨漏りし量もうねっており、これで避難所というのはどうかという印象がある。いきいきサロンは上辻の会館を年間1万3000円で借りていて、総会などもそこで出来る。町内の人がいると言えるために色々考えなくてはいけない。	—	—	—
	上辻町	●持続可能な町内会運営が一番の悩み。非常に困っている。	今の財政状況では、当然事業の見直しが必要になることは仕方がないと思うが、この事業内容の見直しにより、市民生活への影響はどんな形になるのかということが十分考慮されたものでなくてはならないと思う。	【市長】 財政が厳しいとはいえ、市民生活に直結する事業が万一あれば、もちろんいきなりこれを削減しますということが無いようにやっていかないといけないところ。いきなり諦めるのではなく、当事者の方と話をする中で、お互いに納得いくように色々話をさせていただく中で、探っていくというような進め方をしております。	—	—
		—	今回の事業の見直し案で、廃止・休止とされたものの一つに、歴史的建造物の改修があった。上下の代官所は確かに保存という面で大事にしていくな物件だとは思いますが、この財政難の中で何故今の改修工事が必要なのかという市民の声も上がっている。また、利用の面からしても、この改修の必要性があるのか疑問である。現状のまま、古いものは古いままで、保存の道を選んでいたければいいのでないかと思う。	【市長】 市民の方に全く迷惑をかけないという風に言い切れない。例えば道路の補修だと、全体で数億円という予算を確保していますが、その中でどうしても順番をつけざるを得ないため実情を見させていただくこととなります。とはいえ、地域の実情をしっかりと伺いしながら取り組んでいきたいと思っています。	—	—
		—	260個の事業の廃止について、これは莫大な事業だと思うが、廃止や休止はどの範囲までか、その中身が明らかにされていない。発表を待つしかないが、私たち各町内会では、毎年市民生活に密着した地域の高齢者から子どもたちの見守り、支援に繋がる活動を推進し要望を提出しているが、財政問題が原因でちょっと待ったと言われると、ちょっとでは済まないのではないか。その心配はないのか。	【市長】 ランドバンク事業については、現在、元中央マーケットの使い道について、みんなで話をしようという府中のNPOの方が話題作りとか会合の準備をいただいています。予算が無い中で知恵を出し合い、みんなでどういう風に活用できるか、若い人を含めて話していくという取り組みを行っています。お金が無い中でどうアイデアを絞り出せるかやっていきたいと思っています。	—	—
		—	私たち府中地区の要望は、緊急性のある防犯や防災に関するものから、まちづくりの一つとしての、空き地、空き家の対策などがある。これは、喫緊の課題であると思っている。広島型ランドバンク事業をすぐにも着手していただき、活用可能な土地を生みだして、賑わいが生まれるよう、府中の町に合ったまちづくりに繋げていただきたい。広島や福山のような大きなまちづくりではなくて、府中の町に合ったまちづくり。言ってみれば昭和40年代の府中の町も良かったなという意見も出ている。住みやすい、学校が近い、病院も近い、買い物ができるようなまちづくりを目指していただきたい。	【市長】 ランドバンク事業については、現在、元中央マーケットの使い道について、みんなで話をしようという府中のNPOの方が話題作りとか会合の準備をいただいています。予算が無い中で知恵を出し合い、みんなでどういう風に活用できるか、若い人を含めて話していくという取り組みを行っています。お金が無い中でどうアイデアを絞り出せるかやっていきたいと思っています。	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
		—	人口減少、少子高齢化や一人暮らしが増えている状況は県内全市町の問題であるが、府中市民も同じように心配をしている。これに私たち町内会や地区社協で取り組んでいる支援とか支え合い活動などの継続は地域の絆を維持するためにも大変重要な取り組み。府中市社協が窓口になっている地域支援事業も私たちの活動と直結している。この取り組みへの財政的な助成はカットすることなくやっていただきたい。地域の福祉活動が、事業の見直しに入ることには無いと思うが、発表されてからでは遅すぎるため、今日現在のお考えをお聞かせいただきたい。	【市長】 社協とも色々な話をする中で、財源をいきなり切るということは無いようにやっていきたい。社協さんにも随分事業を委託しておりますので、協議の中で、継続事業などについてしっかり話をしながらやっていきたいと思います。	—	—
		—				
		—				
		—				
		—				
		—	府中公園周辺や東小学校跡地の事業計画等、地域の環境整備として毎年要望している。今のところ動きは無いが、私たちは諦めていない。あの素晴らしい自然環境を背景にした府中市の中心地の土地の利用計画の一つとして、発信したらどうかと思っている。全市民が健康づくりに利用できる総合的な運動公園の建設についても大事業であるため、簡単とは思っていないが、大切な公共用地、市の財産を今のまま放置するのはいかがなものか。	【市長】 環境整備という大きなテーマで、児童公園の活用の仕方なども少し長期的に考えていただくような形となろうかと思っています。	—	—
		—				
		—				
		—				
		—	今回の財政事情になるまでに市議会の動きというものはどうだったのか。市議会から市長に何か動きはあったのだろうか。今日の中国新聞に、今日の財政問題と共に議員定数1削減について書かれていた。議員を1人削減することで市民が納得するだろうか。財政難ではあるが、市民が喜ぶような施策もやっていただきたい。	—	—	—
		—				
		—				

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R7.1.09 クルトピア明郷 河南町／三郎丸町(欠席)／ 篠根町／河面町／僧殿町／ 目崎町(欠席)／父石町(欠席)／ 上山町	河面町	●町内会長の選出については、町内会の役員の中に各組(5つの組)から代議員が出て、5人の代議員が推薦をして選出をするやり方。その代議員は責任があって、前任者が辞めるとなった場合は責任を持って次の町内会長を出さないといけない。誰もやる人がいなかったら代議員の中から誰かが責任を取って町内会長になるというようなこともある。副会長などの役員は会長が決める。	県道府中上下線沿いの桜が、枯れて倒木のおそれがあり危ないのではないか。植栽したのは地元の人と地元の元議員が植えたよう聞くと、市で伐採してもらえないか。	【市長】 市が断りもなく伐採したとトラブルになった事例もあります。すぐ市で伐採できるとは回答できないが、そのあたりを地元でも確認していただきたいと思います。	—	—
		●地区社協は町内会の会長が役員になるし、民生委員は町内会役員になるし、お宮のお世話も町内会がする。お宮の関係はだんだん関心がなくなり、参加する人も減り、協力してくださる方は町内会の役員などが中心で、それ以外で手伝ってくれる方は少ない。	—	—	—	—
		●町内会加入率は100%				
		●町内会長がいろんな役を兼ねているため、仕事が多いというのは感じる。どのように簡素化すればいいかまだ考えられていないが、社協とか公衆衛生とか何もかもある。				
	僧殿	●河面町は現在48軒で、我々よりも若い世代は少なく、担い手不足であるため将来的に持続可能かであるかは危うい。	通院手段の確保や食料品・灯油購入など、共同で実施する仕組みを検討したい。先進事例等の紹介をお願いしたい。	—	必要に応じて情報の提供やご相談に応じますので、お気軽にお声がけください。	地域づくり課
		●私が会長になってから、業務の役割分担をし、それぞれに実行長とサポーターを付けるようにした。1年目は今までのことを整理する。2年目はそれを実行長と一緒にやる。3年目は実行長が前に出てやる。今年度は仕上げの年。このようなサイクルで事が動くようにして今年で4年目を迎えており、もういつ会長が変わってもいい状態に組織改革できた。この先10年は安泰かと思う。		僧殿砂防工事(県)が40年経過している。僧殿橋は架かったが砂防工事が残っている。早期完成を要望する。	—	—
		●各業務の担当者は、取り組みの経過を書類に整理し、引き継いでいく。今までの慣例だと、例えば祭りの計画や実行も、毎回その場で話して決めていたので、全てに会長が関わらなければならなかったし、進め方などの経過や結果が何も形に残っていなかった。	下川辺は交通・諸機関の要衝。地域の人数が減少しても、核である学校、保育所、公民館は堅持していただきたい。	【市長】 学校の問題は、会長がおっしゃる通りです。視察も多く来られており、この学校をどうするかなどの話は全く出ていません。	—	—
		●敬老会は地区社協がキーポストとなっているが、今年から町内会単位で分散方式になり、各会場で開催することとなった。出席率が上がった。	御調川と芦田川の合流部。図のように農地を開削して御調川の流路を拡張すれば、浸水害は防げる。現時点では避難場所が安全でない。土地の所有者は買収に応じる意向がある。県に対して市から進言してほしい。	—	広島県東部建設事務所工務第二課第二係からの回答です。 「現在、新僧殿橋の橋梁上部工事を施工しているところです。引き続き、新僧殿橋上流区間の用地の取得を行い、早期完成に向け事業進捗を図っています。」	土木課
		●いきいきサロンは、各町内会の会長が運営している。僧殿は月1回開催している。				
		●女性会も解散し、老人会も解散し、町内会が何もかもやっているが、悩みながら取り組んでいる。地域のお世話をすることにやりがいを感じるような行事を仕組んでいて、地域のために貢献をする感覚を持った人材が育っていけば、ある程度持つのではないか。				
		●高齢者への配慮としては、草刈りとか役員とかの免除について町内の実行委員会で社会通念上の共通意識としており、皆さん納得していただいている。				
	篠根	●町内会長の選出は、各地区の順番制になっている。	—	—	—	—
		●昔は定年が55、60歳だが、今はもう70歳くらいまで働いている。役員選出の際に仕事を理由に断られる。みんな生活がかかっているの、それを犠牲にしてまで役員を得るのはなかなか難しいため、徐々に年齢が上がってくる。				
		●神社の関係は、住む地区によって違う神社の氏子になるので、町内会としては関与しない。				
		●公衆衛生の関係は、3地区から代表を順番持ち回りでやっている。				
		●町としての行事は多くなく、二大行事が、「歩け歩け」と、グランドゴルフが3年に1回ある。歩くのは毎年、三郎丸町の開催に合わせているが、だんだん減っている。				
		●町内会に加入していない人もいる。防災組織の時など、入っていない人はどうしようかと思う。回覧板も何も回らないため、そういう方の対応が難しい。				
		●高齢者の役の免除の配慮などは特にない。役の仕組みとして、総代の下へ組長があり、組長は強制的に回ってくる。ただ、90歳で一人暮らしの人に順番が回ってきた時は考える必要はある。80代半ばで今も組長をやっている人もいる。まだお元気ならできるが、切実な問題である。				
		●防災組織の運営に一番頭を悩ませている。組織としてはできたが、防災士の養成を今年も1人増やし、各地区2任ずつにしてトップを防災士にして運営できないかと考えている。全体的にみんなが集まる行事の立案がなかなか難しい。				
		●敬老会は記念品配布のみとした。暑い体育館は無理、クルトピア明郷も入りきれない、分散も難しい。				
		●いきいきサロンはリーダーがおらず開催していない。				
	河南	●老人会は昨年解散し、女性会も随分前に解散した。地域に密接した組織が無くなっていつている。	太陽光パネルがどんどん設置されており、太陽光パネルの街になっている。大変困っている。防草シートも何も敷かず設置するため草だらけである。管理者に電話しても全然話にならない。	【市長】 太陽光パネル以外での土地の維持をできないものかと思いますが、市として規制はできるものではありません。	—	—
		●グランドゴルフやカラオケは町内会の関係でなく、任意の団体としてやられている。				
	上山	●町内会長は、前任者も14年しており、一度なったら長く務めるのが基本である。しかし、何もかも会長が自分で決めなければならないことは一切無く、全てみんなで一緒に取り組もうというのが基本。会長は意見が割れたときに判断をする。	生活道路の草刈りに困っている。安楽寺へ降りる道と、父石町へ降りる道の両方で年6回行っている。お金をいただいているが、草刈機で刈れる範囲2mから2m50cmしかないので届かない。今は山の清掃をされる方がほとんどいないので、天然のアーケードになっている。上山へ上がる運送屋や、大きいトラックを所有している上山の企業の方々が困っており、なんとかしてと言われている。去年9月ごろ要望を出し、令和6年度中に対応しますと言われたが、どんどんどんどん伸びるため、できれば早急に対応していただきたい。	—	令和6年度に通行に支障となる木の枝について一部伐採はおこなっております。今回の要望を踏まえ再度現地確認を行い、トラックなど通行に支障のある木の枝などについて伐採を行います。	土木課
		●神社の決め事は総代の方が決め、それに対してみんなでお手伝いするのが基本である。	高齢化により、七森池の草刈りが難しくなってきた。農林課へは池の縮小をお願いしているが、池の「廃止」となると国の施策として交付金が出るのでできるが、「縮小」は国の補助がないそうで難しいそうだ。何とかならないものかと聞いている。池はいくらか残して、少し埋めてもらいたい。市長の方からちょっとお願いしてもらえないだろうか。	【市長】 全部埋めてしまったら大雨が降った時にあふれてる可能性があるの、調整池としての機能も残しておかないといけない。どういったやり方が取れるか確認したい。	国費事業での農業用ため池の『縮小』は対象外であり、農業用ため池としての受益がないのであれば『廃止』の方向でご検討をお願いします。『廃止』の場合は国費事業で工事ができ、地元負担もありません。ため池の安全管理においては、草刈など日常点検が必要であり、管理が難しい状況であれば、下流域の安全のためにもご検討をお願いします。	農林課
		●常に全員が集まって物事を楽しむのが基本であるため、役割分担がほとんどない。会議などで呼ばれて出ていくための役割分担はあっても、それに付随する活動はみんなでやる。一人に任せない。				
		●敬老会の年齢が75歳に引きあがったが、町内で話し合い、今までとおり70歳以上を対象としている。市や社協からはその年代分しが補助金が出ないが、町内会のお金の中から補填をして、みんなでお祝いができるようにしている。				
		●自主防災会も公衛連もみんなでやるが基本。消防団員が3名しかおらず、3名では夜警が足りないから、自主防災会から手伝いをしている。困ったことがあればみんなの前に出せよ!が上山町のシステム。				
		●役員選出も難しくない。金銭的な町内会の運営は厳しいが、役員がしんどくて辞めようという思いはない。祭りの準備も自分達で準備して自分達で楽しむ。「組織」としてどうかとは思うが、全部が一つの家族みたいで一番良い状態と思う。他の家の困りことでわからないことはないし、困っていればみんなで力を貸すようにしている。				

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R7.1.14 クルトピア栗生 栗生東／栗生西／ 栗生南／栗生北	栗生北	●町内会は2つの組に分かれており、会長は交代で出している。各組での決め方については、地区の中で頼んで回って何とか受けても らっている。町内会長の任期は2年で会長以外には副会長1名、会計が1名の体制。	—	—	—	—
		●地区の中の役員は順番でやっている。例えば私の住む地区だと、上・中・下に分かれており、順番に回してる。町内会の大役をしたら次 は、地区での役の大役はやらなくていいなどのルールはあるが、みんな一度は、役をしないといけないようになっている。	—	—	—	—
	栗生東	●地区社協は栗生全体で組織しており、協力してもらえる人をそれぞれ依頼する。各地区から1人ずつ福祉委員がいる。	各町へ防災士があり、栗生全体で12名いるが、地域で防災士への意 識が薄く、活躍の場が少ない。市が予算を組んで養成の補助を行っ ているものもあるので、市からも何か呼びかけを行って欲しい。	—	市としても防災リーダーが活躍できる場を増 やしていく必要があると考えているため、毎 年実施している防災リーダースキルアップ研 修でも防災リーダーとして活動するための研 修や呼びかけを行います。どのような呼びか けが効果的かご相談させていただきたいと 思います。	危機管理課
		●いきいきサロンは栗生全体で5か所ある。各町にはあるが、地区としてはないところもある。 サロンは栗生地区社協の役員とはまた別の方がボランティアで運営してくれている。				
		●町内会は大体の人が加入されている。施設入所などで脱退される方はいるが、それ以外での脱退は非常に少ない。	以前、建設部長にも話したが、扇橋の開通式の際には、地元の虫送り 太鼓や獅子舞により盛り上げたいと思っている。東部建設事務所に も話しているので、ぜひお願いしたい。	【市長】 今年の前原橋の完成時、国交省や県の東部事務所か らも「地元で盛り上げて」という声があり、渡り初め をしました。扇町についても話は聞いているので、何ら かの形でイベントを盛大にやりたいと思います。	—	—
		●行政から会長宛てに、色んな役の推薦依頼が来るが、地域にどんな人がいるか日頃から把握しなければいけない。今まで何度か国勢 調査の調査員をしたことで、地域のことはある程度把握できているように思う。				
		●老人会は解散したが、グランドゴルフは地区ごとに行っている。年1回、栗生全体で子どもを含めた大会を開催しており、100名ほど 参加されている。				
		●みんな70くらいまで働かれているので、役の受け手が無いというのは大きな問題であるが、退職後いざ役を受けてもらった時も、今 まで地域に出ていないと出て来づらいという問題がある。	南宮神社の修復費用が約5,000万円かかるが、色々と検討してい ただき感謝している。広島大学や奈良女子大学の教授からは、国の 重要文化財にもっていけると聞いている。市全体の課題として、重 文への推薦など一つ先の取組をお願いしたい。	—	南宮神社に存在する指定文化財建造物につ いては、専門家はもとより広島県、文化庁と 連携しながら情報を共有し、現状の市指定か らさらに県指定また国指定という一つ先の 保存と価値付けを視野に入れ、所有者や地 域の旨様と連携・共有しながら文化財保護の 取組を進めてまいりたいと考えています。	教育政策課
		●人によって得手不得手があるので、役や色々な協力要請はその人にとって得意なことをお任せしている。				
		●地域の行事は、子ども達が入っていけるような内容にしていく。子どもが参加すると家族が付いてくるし、周りの大人も子どもがいる と盛り上がる。	—	—	—	—
		●あじさい祭りが有名であるが、町内会とは別に「あじさいを育てる会」があり、その有志のボランティアが面倒を見ている。栗生にはそ ういった有志の団体がいくつかあり、何かイベントをするとすると、そういった組織の協力を得ることもある。	—	—	—	—
		●栗生は各町内会単位というよりは、栗生全体で取り組むことが多い。	—	—	—	—
		●夏祭りは部門ごとに色んな組織へ協力を依頼している。例えば一中の吹奏楽部に演奏してもらったり、地元の三味線グループに盆踊 りのBGBを依頼したりしている。PTAとも協力しながら行っている。	—	—	—	—
	栗生南	●町内会長の選出は、町内が4地区に分かれているので、任期2年で持ち回りとしている。各地区の幹事が1人ずついる。	—	—	—	—
		●会長用の引継ぎ資料があるので、初めてなってもそれを見て、周りに聞きながら対応することができる。	—	—	—	—
		●民生委員の推薦について、うちの地区の委員さんは就任されて久しいので退任を希望されているが、次の成り手が見つからない。暗 黙の了解で民生委員も地区で持ち回りとしているが、1つの地区に偏っている状況。	—	—	—	—
		●今年度から栗生4町内会全ての会長がCSIに関わるようになった。	—	—	—	—
		●CSIに関わってみて、地域の人間が関わることで、みんなで子育てしているように感じる。こどもの数が少なくさみしいが、栗生に誇り を持ってほしい。	—	—	—	—
	栗生西	●4～6年会長をする人も多い。私は福祉委員などは一通りやったが、幹事は経験したことがなかったが会長を受けた。	じわじわ世帯数は減っている。市街化調整区域のため、新しい人が 入ることはない。府中自体、大きな災害がなくどんどん移住して もらって活性化しないと。子どももいなくなっているが、来やすい条件 が整えばと思う。福山のベッドタウンとしても、人口が増えてくれ ればと思う。	【市長】 市街化調整区域でも50戸連担などの制度があり、 近隣に一定の戸数があれば建てられるので、相談し てください。	—	—
		●会長になってみて、平日の会合が思ったよりもあるので大変に感じる。夜に出るのは別にいいが、月に1・2回は仕事を休んでいる。				
		●サロンの手伝いをしている人も70代でしんどいと聞く。	小学校や保育所があり中学校も近いが、産婦人科が無いのがネッグ だと思う。	【市長】 産婦人科は全国的な問題です。栗生の便利がいいと ころは、中国中央病院へ行く時間が、福山市内より 早く行けます。この地域は松永へ出るのもすごく便 利がいいと思います。	—	—
		—	大門地付近にバスが通っている道があるが、斜面の草刈りが高齢者 世帯の2～3軒だけとなっており要望を何年も前から出しているが そのまま。今年も要望は出している。困っておられるのでお願いした い。	—	市発注の市道の草刈においては、市街地を 除く通行量が比較的多い、又は観光道路等 の特性のある路線のみしか行えておりませ ん。また、この度と同様な要望は、多くの町内 会からも寄せられておりますが、現状では対 応出来る状態ではありません。したがって、 申し訳ありませんが要望箇所の除草を行うこ とは困難となります。	土木課

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R7.1.16 協和公民館 河佐／久佐／ 諸田(諸毛町・小国町)／ 阿字町／第一木野山町／ 第二木野山町／ 行簾町／斗升町	第二木野山	●高齢化と人口減少が加速している。協和地域の女性会の存続も怪しくなってきた。	横谷の河川改修は、予算の関係で一氣にできないとのことだったため、原料支給を受けて作業したが難しい。継続をお願いしたい。	－	ご意見のあった河川においては、現在補修の指示をしております。今年の夏には完了する予定となっております。	土木課
		●地区社協は、協和地区全体で運営している。町内会でサロンの数は違う。	市道の舗装の老朽改修をお願いしたい。	－	－	－
		●神社の祭りは他地域と一緒に世話をし、とんでも個別・合同で実施しているところなどまちまち。人口減の中、地域のあり方を考えてみても、良案は思いつかない。	法務局へ届ける保安林の相続登記申請が難しい。分かりやすい指導をお願いできたらと思う。	－	－	－
	久佐	●青壮年会の組織は現在も続いている。去年からとんでも町内で1か所、青壮年会がやっている。	阿字久佐1号線の矢木原橋の架け替えを国交省がR元年に許可しているが、毎年「来年から」と先送りされている。今年の10月には「財政的に厳しく5年ぐらい延びるかもしれない」と言われたが、橋は着工してから5年しかかる。橋が落ちたらどうするのか。もし仮に延びるなら、責任のある人が来て、地域に説明してほしい。	【市長】 矢木原橋については、担当から回答させます。	令和7年4月16日に建設部長から地元関係者に説明させていただきました。5年間の事業見直し期間ではありますが、できるだけ早く事業着手できるように調整してまいります。	土木課
		●山の下刈りなど財産管理会和青壮年会、町内会で実施し、元気に人だけで作業をやっているという話をしている。	高齢化に伴う耕作放棄地が増えてきた。持ち主は地域の方で「放棄」したわけではなく、高齢化により、手が付けられなくなっているということもよくある。対策を考える必要がある。	【市長】 耕作放棄地は、個人所有地なら個人が管理することですが、遠方にいたり連絡がつかないほか、草刈りの依頼をしても対処されない事例なども多くあります。隣人や行政で全て対応もできません。	－	－
		●町内会長が地区社協の副会長をし、地域と一緒にしている。				
		●神社総代は別にいる。				
	諸田(諸毛町・小国町)	●町内会の役員を選考するため、2年に1回役員選考委員を12人出し、会長、副会長、監査委員を選考してもらう。	「教育の場である公民館での飲酒を禁止する。」と言われたが、久佐町には公民館以外に集まれる場は無い。そもそも子どもも少ない。毎日飲んでいる訳ではないが、コミュニケーションのためには飲む場面も必要。公民館一律でなく、地域の実情に沿った配慮が必要である。地域の理解が得られないのではないかと。	【市長】 公民館はご指摘のとおり生涯学習の場だけでなく、コミュニティの拠点としての必要性も感じています。9割以上の方がルールを守られる中、一部迷惑行為のあった地域では厳格化すべきとの意見もあり、飲むのを控えるという流れです。学習の場とコミュニティの場としての棲み分けなどは、皆さんの意見を聞く中で考えていく必要はあると思います。ご意見として承ります。	－	－
		●組長がお願いに回って理事を選出する。理事の任期は2年。理事の中で町内会長や社協会長などの役割を決めるのが基本だが、将来的には組長と理事を一つにするしかないかという話もあり、厳しくなりそう。	鳥獣被害がひどい。耕作地の登記をせざるを得ないとき行政の力を借りたいが、何か考えがあるか。また、消滅集落になりそうだが、どうお考えか。	【市長】 鳥獣被害はどの地域でも課題。猿の檻を阿字町や上下町で地域の人に餌付けの協力をしてもらい実施しています。猪や鹿被害の特効薬はありませんが、捕獲の報償費を若干でも上げようと考えています。	－	－
			農道、水利をよく農林課で確認していただき、対策をしていただきたい。	【市長】 農道については、担当に改めて仰ってください。	－	－
			敬老会の対象者が段階的に80歳に上がる。健康面や財政的なものがあるが、その説明を聞きたい。	【市長】 平均寿命は80歳を超えていますので、今の75歳の基準を他地域でも80歳に上げようとしていることに準じて5年かけてやりたいと思います。	－	－
	行簾		町内会の資金集めで資源回収を年2回やっているが、瓶や衣類の回収に対しては補助がなくなっている。できれば元に戻してもらえないか。	【市長】 瓶など回収すれば費用のかかるものもあるため、資源としてお金になるもののみ対象にしています。取り扱う業者の有無にも関わります。	－	－
		●高齢化と町民の減少が問題。利便性が悪く子どものいる世帯は、アパートなど市内に出る。高齢となった親を自分の近くに連れて行く例もここ1年ぐらいて見られ、まだ世帯数が減る傾向。	財政再建の話で要望は通らないのではないかと。貯金がなくなることに対して議員が危機感を持っていない。市長が公表した次のフォーラムがなかったら、夕張みたいになるという声が聞こえている。300もの施策を出しているが、効果が出るのはどれぐらいか。	【市長】 向こう5年をかけて財政調整基金に頼らない健全化に向けて取り組みたいと思っています。取組内容や効果を説明しながら進めていく必要があります。	－	－
		●少ない人数での市道管理が負担。役員もかなり兼務しており、行簾角目線は全く手が付けられない状態。道が綺麗になれば人は集まる。	市民プールは広島市のように官民連携で再整備が出来なかったのか。	【市長】 官民連携にもPFIなど色々ありますが、府中市の場合は過疎債という7割が交付税措置されるものか使えるので、運営は指定管理で行います。	－	－
		●コロナ前は斗升町と合同で盆踊りや歩け歩け運動などの交流の場を頻繁に設けていたが、コロナでできなくなった。				
	●北コミュニティ振興会も解散という話が出ている。行簾町が3つの集会所を持っているが30軒では管理できない。斗升町の会長も理解いただいている。	市道管理の報奨金の根拠はあるのか、時間なのか人数、距離なのか尋ねたが、根拠の返事をもらっていない。総枠を増やしてほしい。	【市長】 補助の算定基準は距離で、キロ幾らになっているはずですが、改めて(担当から回答させます。)	平素より市道管理にご協力を賜り、まことにありがとうございます。市道管理の報奨金、いわゆる「路面報償費」につきましては、各ブロック(東部・中部・西部)毎の予算配分額(ブロック内総労働時間/市内全体総労働時間)に「地域配分率」を加味し、さらに該当町内会当たりの労働時間(当町内会の労働時間/ブロック全体の労働時間)を踏まえて算出しております(※労働時間＝作業時間×人数、最低保証額5,000円)。総枠を増やして欲しいというご要望につきましては、直ちに対応することは難しい状況ですが、今後の市道管理の状況を踏まえ、適宜、検討を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。	－	監理課
		●とんど祭りやさつき祭りなど地域の祭りには総代が別にいるが兼務しており、兼務の中でやり方を変えて内容を簡素化している。	－	－	－	－
	阿字町	●地区社協の代表は順番ではなく、町内会長の中から選んでいる。	平成30年災のとき、西組の防災ダムは何とか出来たが、大きな望みの坂根トンネルが残っており、代替道を望む声はみんなある。県に対して要望を度々上げてほしい。	－	府中上下線の代替路線については、令和8年度からの広島県道路整備計画にあげていただくように広島県へ要望しました。	土木課
		●協和元気センターで通学タクシーも前向きに検討しようと講習会に2人行くように理事会で決めた。	市全体で市のOBが町内会長をしているところは多いのか。サロンも含め一般の人より知っている。指導ではないが、何かの機会に市長からそういった話もしてほしい。	【市長】 必ずしもしなければいけないということではありませんが、地域へ貢献すべきだと考えてます。地域の方と一緒に取り組んでいただければと思います。	－	－
		●猿の捕獲は2020年10月に檻を設置し54頭捕獲した。餌の管理などは指定管理のグラウンドの清掃の流れで、組長に4～5年やってもらっている。猪は減ったが、猿と鹿が増えた。		－	－	－
		●町内会長の次の目星はついているが、順番制の組長との年齢差が1回り違う。	－	－	－	－
		●一人暮らしで組費や町内会費、お宮の金などの負担が大きく脱退したいという声が出ている。これまではなかったが、そうした声が出始めている。	－	－	－	－
	第一木野山	●9割以上が65歳以上の高齢者、とんどなどの行事は各地域ですが、盆踊りなどは今はせずスカットボールなどをしている程度。掃除も各地域で行う。箱田では道路の草刈りは3人でやっている。角目も22軒あるが、高齢者が多く草刈りも途中まで。	来年度から空木地区で地籍調査が始まる。住んでいるのは8軒のみ。ほとんどが70歳以上で全員出での草刈りなどができない。今、角目・箱田を市の担当者が草刈りをしているが、空木は土地が広く全くできないので考えてほしい。	【市長】 地籍調査は必要なものでやり方は相談させてください。	－	－
		●市道があちこちでひび割れているが、何度とも言わないと直してもらえない。	－	－	－	－

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
	河佐	●何かない限り町内会を出るということはない。	－	－	－	－
		●役員は6地区に組を減らして10人から6人に減らした。町内会の理事は6人出し、互選で会長、公衆衛生、体育委員などを決める。地区社協の副会長も町内会長が担う。	－	－	－	－
		●60歳を超えても仕事をしていると言われると、町内会長は死ぬまでやめられない。何もしなければ役もいらないという風潮があり、選考や推薦の方法を変えないといけない。	－	－	－	－
		●盆踊りも運動会も出来ない理由ばかりが出て話が前に進まない。グラウンドゴルフしか考えようがなくなっている。	－	－	－	－
		●民生委員や調査員を出してくれと頼まれてばかりだが、館長でさえ決まらず運営上難しい。	－	－	－	－
		●猿の捕獲でコンサルタント会社が来て講習会をしたが、その次の調査に回るのが大変と、市に対して渋っている状況。	－	－	－	－
	斗升	●人口減少もあまりないが、班によって多い少ないがあり、高齢の人は大変な状況。組のと統合は今のところないが、考えないといけな い。	市道改良工事、橋の架け替えで石が出て困っている。5年計画だが、もう少しスピードを上げて市道舗装をやってほしい。	－	ご指摘のとおり、想定外の巨石の出現により工事が遅れ、通行止めにより迂回する状態が長引いており、大変ご迷惑をお掛けしております。 現在の工事については施工業者と協力して一日でも早く完成するよう努めてまいります。また今後の計画につきましても、市の財政が厳しく時間はかかると思いますが、早期完成出来るように、効率的な事業計画のもとに予算要望をしてまいります。	土木課
		●北コミュニティ振興会は3月をもって解散する。管理をするのも大変。	坂根トンネルは何とか前に進めたい。あれから何の回答もない。	【市長】 県には言っています。	府中上下線の代替路線については、令和8年度からの広島県道路整備計画にあげていただくように広島県へ要望しました。	土木課

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R7.1.17 出口公民館 川原／新町／大黒／ 胡／川上／荒谷	荒谷	●高齢化が一番進んでいて、過疎地であるため、役員を交代しようにも限られた人しかない。私も、色んな団体の会計や老人クラブやグラウンドゴルフ会など、その他にも色んな団体の事務局のような役割も任されている状況にある。	－	－	－	－
		●高齢社会の中では、今まで何でもなかったことも見直さなければならない状況にある。85歳を過ぎた組長もいるため、例えば、毎月定例会の開催時間も、夜から日中へと変えるなどの配慮が必要となった。会議自体を、本当に必要な時だけの開催に変えていく必要がある。	－	－	－	－
		●出来ないことや問題ばかりを言っても仕方がないので、荒谷の中に何か明るい材料を作っていきたいと常に思っている。そういった考えでアジサイを栽培したり、耕作放棄地になってる農地を変更して桜を植えたいと思い取り組みを始めている。府中市内外から人を呼び込めるようにしたい。	－	－	－	－
		●敬老会は、以前は町民全員でお祝いする風土があったが、コロナ禍で会場も変更し、役員のみでお世話をしていくように変わった。大変なことだが、府中市の街中へ出て行ってお祝いしてもらうんじゃなくて、地域の中でお祝いをする形をなくしたくない思いが非常に強い。そういった思いは大切にしたいと思いながらやっている。	－	－	－	－
		●老人会やグランドゴルフ会、いきいきサロンは、事務局は町内会長が担っているが、それぞれ組織のトップがいて、その方が中心となって運営をしている。	－	－	－	－
		●回覧などの配り物は、集会所に設置した「ふれあいボックス」へ各組宛ての資料を入れておき、組長さんが月初に取りに来るようなシステムにしている。	－	－	－	－
	川上	●役員のなり手がおらず、同じメンバーで役を回しているような状態である。	－	－	－	－
		●町内会長と副会長を選出するエリアが異なるので、互いの接点が無い。	－	－	－	－
		●今は、副会長や各部会の会長も、行事への参加経験がない人ばかりのため、色々と頼みたいが分からないと言われ、結局中身の仕事は全部会長がやらなければいけない状況にある。	－	－	－	－
		●長く会長をしていると副会長不在でも何とか事は回るが、今後役員全員が何をどうすればいいのか分からない状態は良くないので、私も来年は次の人に交代するつもりである。一年は新会長に伴走し、全面バックアップするつもり。	－	－	－	－
		●町内会を越えて「出口町」合同の夏祭りを開催している。当番町を持ち回りにしてる。	－	－	－	－
		●府中地区社協は町内会とは別に、地区社協の役員が主体的に運営している。	－	－	－	－
		●年配の方で「数年先には組長が回ってくるから」という理由で組を抜けた例はある。回覧など町内のお知らせは回らないが、ごみ捨てについては、ごみステーション設置の際に出資をされていたことから、今までとおりステーションは利用されている。	－	－	－	－
		●これから先、ものごとを進めていくには町内会組織としてでなく、物好きな人が集まって盛り上げていくべきだと思う。	－	－	－	－
	胡町	●高齢者が増え、出口通日も空き家が目立つ。	－	－	－	－
		●胡町には老人会・壮年会・女性会・子ども会がある。高齢化により、2～3年前から壮年会の年齢の上限を60歳から75際上げた。雛祭りや餅花を作ったり、ホタル祭りなど年間を通して代表者が奮って話している。	－	－	－	－
		●行事はみんなが参加できるような仕組みになっている。たとえば、とんどの場合も、老若男女みんな来る。若い方は餅を作らない家があるので作っている人が持って行って分けてあげる。今までも町に人が集まれるような方法をとってきている。	－	－	－	－
		●行事では女性会の方がお茶やぜんざいの準備をして、壮年会の方が力仕事をしてそれぞれの団体が責任を持ってやっている。	－	－	－	－
		●一番困ったのが、最近になり、昔の私たちの考え方じゃなくて、都会的な考え方になっていること。面倒なことは「あんなのほっとけばいいわ」という人がいる。町全体がそういった考えになることを危惧している。	－	－	－	－
		●災害がないことは良いことだが、災害を経験した地域は助け合いがしっかりできていて、安心な場所であるがために、近所付き合いを面倒に感じてしまうのではないか。いざという時に手を差し伸べられる関係であるべきだ。	－	－	－	－
	大黒町	●大黒町では歴代の町内会長が10年とか20年とか長い事されていた。後を引き継ぐ者が立候補しづらい風土があったため、平成27年に会館新築以降、集団指導体制にと8人が集められ、会長は1年交代で順次回そうと変更になった。他の町には迷惑をかけたが、全員が経験したので運営がスムーズになった。	－	－	－	－
		●この10年間で組の編成を1回、5年前に世帯数減少で10組あったのを6組に減らした。多いところで15、6軒、少ないところで5、6軒である。回覧板の伝達はスムーズになっている。	－	－	－	－
		●65歳からもっと若い人をもう少し役員にして、あと10年先を見据えた運営をしていかないとなかなか難しいと思う。	－	－	－	－
		●公衆衛生は町内の美化、河川の清掃など、定期的に活発に活動している。	－	－	－	－
		●老人会・壮年会・女性会などは会としては活動を停止しているが、現在、それらの会の会長をされていた方々が町内会の執行部にいるので、何かとうまく回っている。	－	－	－	－
		●2年に1度開催する出口町での合同の祭り以外で、独自に町内で開催する祭りは無い。とんども隣の川上町に便乗する形で町内会として参加している。	－	－	－	－
	新町	●町内会の役員改選は2年に1度としており、各組から役員を選出するようになっているが、組から役員を出せないで組自体を解散した組が1つある。この流れが町内で広がり、いずれ町内会の解散に繋がるのではないかと危惧している。	町内会が解散したらどんな不具合があるかと言われても、何も無い。実際に自主的に脱退された方がいるが、溝掃除はしなくていいし、会費も取られない。入っているメリットという点では何も差が無い。いい案があれば教えてほしい。	【市長】市としては、何とか町内会を維持していただきたい。敬老会の記念品を組入りしていない人に配るのかという議論がある一方で、消防後援会費を払っていない人は火事を消さないという訳にはいきません。地域の中での「おたがい様」の精神は大切です。そのあたりも考えないといけません。	－	－
		●昔は祭りなどの行事やサロンも活発にやっていたが、今は全然やっていない。育成会や女性会も解散した。一旦やめたら次ができない。				
		●とんどなどの行事はコロナ禍に中止してから再開できていない。コロナ前に中心になってやってくれていた人も、コロナ禍の数年で高齢化し、町内から「高齢者が行事の準備をするのは危険だ。」との声も出て辞めることになった。				
		●子ども会も、役の引き受けてがいないため、解散するという話も出ている。子ども会への援助も町内会からしていたが、加入していてもいなくても援助が受けられるんじゃないかという声もある。				
	川原町	●敬老会は、地区社協が主体でやっているが、各町内会からも後援として町内会会員数に応じた金額を出資しているが、町内会に入っていない人も記念品などがもらえるようになっていく。差が無いと思う。	急傾斜地の問題。民家から7m程度の石崖が崩れ始めており、危機管理課に相談したが民民だから、個人情報だからと対応してもらえず。福山法務局に行って調べると神戸・岡山に関係者がおり、連絡したが「私は知らない」と。市で何とかできないのか。	【市長】しんどいという声があるなら行事を縮小するとしても、出口5町の祭りに参加することは、是非とも続けられるべきかと思います。	宅地の石積の場合、市は関与できません。空き家であれば、現地確認後、所有者等に対し適切な管理をお願いする文書の送付が可能です。	監理課
		●子ども会も、役の引き受けてがいないため、解散するという話も出ている。子ども会への援助も町内会からしていたが、加入していてもいなくても援助が受けられるんじゃないかという声もある。				
		●敬老会は、地区社協が主体でやっているが、各町内会からも後援として町内会会員数に応じた金額を出資しているが、町内会に入っていない人も記念品などがもらえるようになっていく。差が無いと思う。				
		●胡町のホタル祭りに町外からも多くの人がある。また、中須町の祇園祭りは、仕事を置いていても人が集まる。これらが羨ましい。				

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会後)	担当課													
R7.1.21 上下町民会館 上下第1／上下第2(欠席)／ 上下第3／上下第4(欠席)／ 深江・下野／国留／矢野／ 矢多田・松崎／井永／ 水永・岡屋・佐倉(欠席)／ 階見(欠席)／二森・小堀／ 小塚／有福	有福	●町内会の役員をやっている者は、70歳代の後期高齢者が1人何役も抱えてやっているというのが現状である。しかし、これから5年先、10年先に仕事を定年で辞める者たちおり、まだ希望はある町内会。	鳥獣害被害が酷くなっている。国も農政にほ力を入れている。電柵などの補助をもう一度検討し、予算確保をしっかりとしてほしい。	【市長】 阿字町でITを使った柵で60頭を捕獲しており、今は小塚で試しています。半年ぐらい地域の人に餌付けの協力をしていただいて、やっと捕獲に結び付きます。しかし、阿字町でも再び被害が増えています。守ることと捕まえることの両方を検討する必要がありますが、捕獲の方は簡単にはいかない中で、いろんな事例を参考にしながら取り組んでいきたいと思います。	—	—													
		●敬老会と年1回の納涼祭は町をあげて継続しており、若い人たちの協力もあり、盛り上がっている。継続したい。																	
		—		有線放送がなくなり訃報の情報がなくなった。My府中もあるが、高齢者は見ない。告知端末や光網などを使った取組予定があったと思うが、取組のその後を確認したい。	—	有線放送によるお悔やみ放送が廃止となり、市に対して町内会等からお悔やみ連絡に対する要望があったため、追加費用の発生しない現状の配信手段である『My府中』(スマートフォンアプリを使った配信)で令和4年1月から開始することとした。 市としては、持続可能な情報提供手段として引き続き『My府中』を利用した配信とさせていただきますのでご理解をお願いします。 (告知端末等については現段階では導入予定はありません。)	DX推進課												
		—																	
		—																	
		—																	
		—																	
		—																	
	小塚	●小塚地区は集会所の譲渡を申請した。これを地域の活性化に上手く生かしたい。小規模な地区だが、40代50代の方が活動的であるため、そのまま60代70代までは今のメンバーでいけると思っている。	—	—	—	—	—												
		●龍田会という若い世代、そうでない世代も神楽保存会であったり、消防団組織、そして町内会。これらをうまく連携させて、小塚で世代間交流や地域文化の維持へ持っていけたらと考えている。																	
	二森・小堀	●町内会会長は、傍で見ていたよりいろんなことに気を遣わなくてはいけないので大変。	元吉野小学校前の河川は、雑草が生え土砂が堆積し川幅が狭くなる悪循環を繰り返している。伐採や浚渫などの対応をお願いしたい。	—	—	広島県へ要望します。	土木課												
		●毎月役員会をする予定だったが、高齢化とともに夜は車の運転ができないなど問題が起きたことと、若い人の利便性を考えてLINEの町内会グループで報告をし、3か月ごとに集まるように変えようと考えている。																	
	井永	●敬老会は、有福と 小塚と3地区で開催している。吉野敬老会を来年度は開催したい。	●めったに役員会を開催しなくなった。コロナ以降、敬老会も記念品の配布だけを続けており、とても不活発になってきている。 ●法界山の草刈りや、とんどなどは、呼びかけると比較的若い人が安定して30人ほどが集まってくれる。うまく呼びかければ、まだまだ活力を出せるように思う。	平成26年度以降、交差点の改良要望をして平成30年にもうすぐ実現というところまで行ったが、30年災で災害復旧が優先された。改めて担当課に要望に行きたいが、今度は財政再建。可能性はあるのか。	—	平成29年度の要望内容の「水路への蕎麦掛け」について検討します。なお、他の要望との兼ね合いや予算状況にもよりますので、実施時期は未定です。	土木課												
		●「矢多田」と「松崎」とで生活圏が違うので色々難しい面もあるため、それぞれの地域で運用するものもある。いきいきサロンやとんどなども、それぞれで行っている。																	
		●避難支援について、もう支援をしてくれる側の人がいないという状況があります。						役の成り手がない。今年は民生委員の改選にあたるが、お願いに行ってもしてもらえない。市の支援が必要。	—	—	—								
		—										7月に要望書を出したが、まだ回答がない。以前から、年度末にならないと回答が返ってこない状況がある。	—	回答が遅くなり申し訳ございません。既に回答済となっております。	土木課				
		—														府中市の財政難の状況は、放漫財政と言わざるを得ないと思う。市長の公約で子育て支援というのがあったが、これまでやってきた子育て支援は続けてほしい。住みやすい府中市にするためには本当に大事なことだと思う。	—	—	—
		—																	
		矢野						●樟ちゃんうどん、矢野文化会館、池岡商店など、矢野の地域活性の拠点がある。子どもが増える要素はないため、この地区で今あるもので楽しめるだけ楽しもうじゃないかと思っている。	今回の財政再建については、組織体制の見直しを含めて厳しく反省してほしい。府中市はダメだという声がある。職員が市のために頑張っているかも微妙。厳しく受け止め、早く財政再建をしてほしい。	【市長】 5年かけて財政調整基金に頼らないような財政に立て直したいと思います。	—	—	—						
								—						府中市には、新たに大きな施設はもういらないし、既存の施設も駐車場が狭くて足りていない。	【市長】 駐車場は常にたくさん必要としているわけではないので、イベント時には近隣の駐車場を借りるなどの対応を考えて見たいと思います。	—	—	—	
								—											
								—											
	深江・下野	●高齢者も増えて、会費を出すのがつらい人が出てきた。そのため、会費を上げないためにも年7回の資源回収を行い、少しでも財源を確保しようとしている。	資源回収の市の補助金が5円/kgに固定されているが、業者の買取りは変動する。高齢者に町内会費で負担をかけないよう年7回実施している。単価を10円/kgに増額してほしい。	—	—	資源回収奨励金は、ごみの減量を目的として実施しています。実施団体の運営資金を確保されたい事情は理解できますが、現在の厳しい財政状況のなかで単価の増額は困難です。	環境衛生課												
		●町内会脱退は、高齢者独居世帯の方や施設入所によるものの例はあるが、脱退自体はほとんどない。																	
	上下第1	●次の役員の成り手が心配。副会長が2人いるが、1人4年で計8年は続くが、その後の成り手がない。	—	—	—	—	—												
		●敬老会の補助金について、今までは市から1人1000円、社協から200円出ていたが、次回からは200円減る。毎年10万から15万円の赤字であるため、これから何年後続けられるか心配である。	—	—	—	—	—												
	上下第3	●町内会の役の成り手がないので、会長については、体を壊さない限り私が続ける。	湯が丘、独法の府中市民・北市民の3病院があるが、繰入金金を一般財源と表現しているが、特別交付税などが入っているはず。一般財源という表現は誤解を生むためよくないと思う。	【総務部長】 交付税については、普通交付税と特別交付税があり、それぞれの病院にどれだけ入っているかは言いきれないため、見込まれる部分を報告し、算定基準としています。一般財源から入れている訳ではないため、表現の工夫をしないといけないと感じました。	—	—	—												
		●町内会、社協、民生委員を全部一緒にやっているの、流れはスムーズにいつている。また、女性の発言力も強く、町内会として上手く回っている。																	
—		小さな予算や弱者対応の予算を削減しており、扶助費まで削るのではないかという状況だが、聞くところによると海外出張者がいる。この目的や復命はどうなっているのか。経済効果にどのように反映しているのか。また、年間8,000万円の(指定管理料の)プールなどもその一例だが、やめろとは言わないが削減する努力はしてほしい。市民に迷惑をかけない財政再建をしてほしい。	【市長】 恋しきでは海外の記者に来ていただきました。効果の検証としては終わっていないところもありますが、SNSで情報を発信していただきました。コロナや帯状疱疹のワクチンなど、実施するだけで数千万円の経費がかかるものもあり、府中市だけ実施しない訳にもいきませんが、もっと厳しく精査しないといけないと思います。	—	—														
—																			
—																			
—																			

会場	町内会	ご発言の要約	ご質問、ご意見	座談会での回答	担当課補足回答 (座談会后)	担当課
R7.1.27 広谷公民館 鶺鴒／元町東／元町西／ 桜が丘／本山／見晴	鶺鴒	●役員交代の時期には、次の役員が決まらないこともあるため、欠員のままスタートして、途中で随時補充をして入れ替えていくという形を取らざるを得ないかと考えている。	防犯灯のリースが2期目だが、思ったほどLEDの交換は少ない。3期目は全市でリースをやめれば、その分が電灯料の補助に充てられる。電灯料の補助率をアップする原資に充ててほしい。	【市長】 最初より10年も経過すると進歩しています。LEDの交換が少ないというデータは次の参考にさせていただきます。	－	－
		●民生委員を探すのは町内会長の役割。現職の方の説得などをしている。				
		●民生委員の情報を町内会の支援に活かさなければ、町内会から支援が必要な方へ手を差し伸べることができない。そのため、鶺鴒では、民生委員さんに組ごとに支援が必要な方の存在を確認してもらっている。				
		●高齢で役を免除しているという事例はあるが、組を抜ける人はいない。				
	元町東	●鶺鴒の盆踊りに技能実習生などの外国人が30人くらい来て大変盛り上がった。母国から遠く離れた日本で踊りを一緒に踊る機会が楽しかったのだろう。	CSフォーラムで他の事例を見ると学校、学校と地域、地域の3つがあるが、府中学園は違う。「休日出て来て、安全に児童生徒を送り届けることはできない。」と言われた。地域に学校は来ないのか？「府中学園のCSは学校行事に限る」との一文を校長が規約に入れたため、「地域に学校を!」とは言うが、学校側からシャッターを降ろされ閉ざされた感じた。 学校から地域に来てくれるのはグリーンプロジェクトだけ。府中学園は23町内会あり難しいんだろうが、こんなことならCSなんてやめて、学力を伸ばす方に力を入れたらいい。	－	昨年度、学校運営協議会で「地域の方が直接子供たちと話をする場を設定し、児童生徒が主体的に地域の活動に参加・参画していく取組を考えていく必要がある」と協議し、令和7年度より「府中学園学校運営協議会規約」を改正し、CS活動の中に「地域と学校、地域と児童生徒をつなぐための活動」の内容を記載しました。 それにより、学校と地域が協議し、地域の要望にも子どもたちが応えていくよう連携していきます。	学校教育課
		●今は地域の女性部もなくなってしまったこともあり、町内会組織として、男性だけでは女性の要望がわからないということで、女性にも積極的に入っていただき、いろんな意見とか考え方をもらっている。				
		●元町は防犯灯のリースを全てやめたが、4年間で切れたLEDは4～5灯のみ。				
		●分譲住宅に若い世帯が入居された際、不動産会社に「町内会加入」を入居の条件としてもらったため全員が入居されたが、翌年には全て退会された。若い人の中には「町内会にメリットを感じない」と言われる方も多い。				
	元町西	●元町は東も西も民生委員が1名ずつしかおらず欠員となっている。昔は推薦に困ることは無かったが、今は大体断られる。	－	－	－	－
		●民生委員は町内会長が推薦することとなっているが、民生委員やその活動内容と町内会との接点がなく、推薦の基準がわからない。				
		●私は退職したばかりの頃、恩返しのつもりで理事の後任を受け会計として元町連合会に入った。町内会長は1年目だが、会計を数年務めていたので年間の動きなどはある程度分かっているなので、大きな問題は無い。				
		●いきいきサロンは、みんなで楽しくや盛り上がっていたら、支援者や参加者が増えてどんどん動き出した。				
	桜が丘	●高齢の方は溝掃除や役を免除している。町内会が嫌で脱退される方はいないが、高齢者の施設入所などにより会員が減ってきている。	ハロースから本山に上がる県道金丸府中線沿いの堂上組に90歳を超える人が住んでいるが、山からの落ち葉に苦慮している。せめて有料のゴミ袋以外でゴミステーションに出せるなど何とかできないか。土木課に行ったら県道だから県の東部事務所と言われ、県に電話したら市の維持係だと言われた。県道・市道と言わずなんとかしてほしい。その後どうなったのが知りたい。	【市長】 町内会長にその後について回答します。	道路上における落ち葉の清掃後に袋に入れて処分する場合は、市の有料ゴミ袋が必要となります。個人では負担となりますので、町内会として環境衛生課(本山のクリーンセンター)に行っていたいただければ、有料のごみ袋を無料で支給してくれます。町内会の役員の方々などであれば受け取れますので、お手数をおかけしますがその方法での対応をお願いいたします。 また、県道においては市の重要な幹線道路となります。落ち葉の堆積により通行に相当の支障がでる場合には、市で撤去いたします。	土木課
		●民生委員が欠員となっており、民生委員の必要性を感じていないと言われる方も多いが、それでもまだ「困り事の相談先は民生委員」というイメージを持たれている方もいるので、欠員により困っていないとは言いきれない。				
		●民生委員は責任ある仕事であるため、町内でよく話をする人がいても、推薦をするとなるとハードルが高い。				
		●社協の餅つき大会に6年生の親が大活躍してくれる。高齢者若いお母さんが一緒にやった感があった。防災の炊き出しなどにも繋がるという話になった。				
	本山	●1年交代の班長が町内会の役員を兼ねるが、になりたい人はいない。役員はいるが、上手く情報を引き継げなければ4月にゼロにリセットされるため、最近引き継いでほしいことを伝えている。	●今年は正月休みが長かったが、休み明けのゴミが溢れて大変だった。休業期間を短縮してほしい。	【市長】 長期休みの後は、検討が必要かもしれません。	年未年始、お盆の収集業務の休みはごみ出し頻度の高い可燃ごみについて、なるべく2回飛ばしとらないよう調整しています。しかし、年によってはどうしても2回飛ばケースが発生してしまいます。今後とも休業期間が最短となるよう、収集事業者とも調整を重ねてまいります。	環境衛生課
		●広谷学区は学区としてまとまりがある。本山の町内会長とも体育会で知り合った。年齢構成の違う2つの町がコラボすれば、出来ることがあると思う。例えば、鶺鴒町の夏祭りも町内会を越えて合同で開催すると更に賑やかになるのではないかな。				
		●親が子ども会に入りたいくないがために、町内会に入らなかつたり脱退したりする。すると子どもは登校班で登校せず、親の送り迎えで通学する。親が自分の都合で子の経験を奪ってしまうのはひどい。				
		●2年任期の組長が19人いるが、組長の交代時期がずれているので上手くいっている。その上に7人の地区長。任期は組によって違う。足りなくてもよその組に振ってはダメと決まっているので、決まるまで会長がフォローしている。				
	鶺鴒	●消防団が防災で頑張っているの、組に入らないのはおかしいと加入をお願いしている。	－	－	－	－
		●神社やお寺は町内会がすべて管理しているので、行事には役員がすべて出ていく。				
	本山	●要援護者の確認は民生委員が行っているが、民生委員と町内会は別物であるため、民生委員は町内会の加入の有無に関わらず、要援護者をリストアップする。そのリストはのちに町内会へ届けられるが、町内会として未加入者をどう扱うべきが悩ましい。しかし、人命に関ることなので、未加入者も援助の対象としている。	－	－	－	－